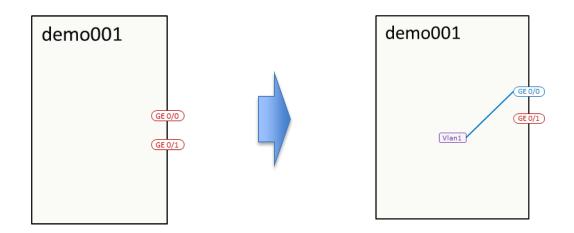
本手順でできること

デバイスファイルの[L2 Table]シートを更新しL2のセグメントを作成します。

L2構成図



 XX x/x
 ・・・・ L2モードのインタフェース

 XX x/x
 ・・・・ L3モードのインタフェース

 XXXX
 ・・・・・ L2セグメント

①機器ポート管理表の生成

「<u>2-4. デバイスファイルのエクスポート(解説付き)</u>」を参考にデバイスファイルをエクスポートします。

② [L2 Table]シートの更新 L2セグメント

デバイスファイル [L2 Table]シートのL2セグメントを接続したいデバイスとポート番号の行を探し、「Connected L2 Segment Name」列にL2セグメント名を入力します。L2セグメント名に空白(スペース)は使用できません



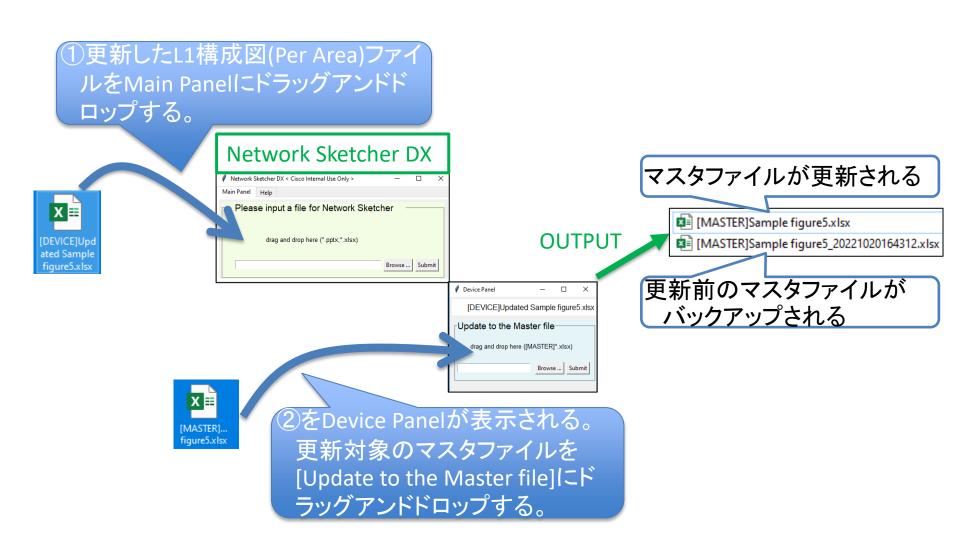
物理IFのモードは自動でL2に 変更されます ※変更箇所を赤字で記載していますが、色は関係ありません。

トランクリンクのように複数のL2セグメントを接続する場合は、カンマ [,] で区切って入力してください。

Device Name	Port Mode	Port Name	Virtual Port Mode	Virtual Port Name	Connected L2 Segment Name(Comma Separated)	L2 Name directly rec
demo001	Switch (L2)	GigabitEthernet 0/0			Vlan1,Vlan100,Vlan_XXX	
	Routed (L3)	GigabitEthernet 0/1				

③更新情報の同期1

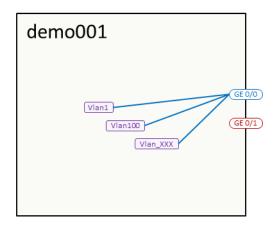
更新したデバイスファイルと、同期先のマスタデータファイルをそれぞれ選択し、同期させます。マスタデータが更新されるため、元のマスタデータはファイル名に"_yyyymmddhhss"を付けてバックアップされます。



④L2構成図の確認

「<u>2-2. L2構成図の生成(凡例付き)</u>」を参考に、L2構成図を生成して変更内容が反映されていることを確認ください。

L2構成図:生成例



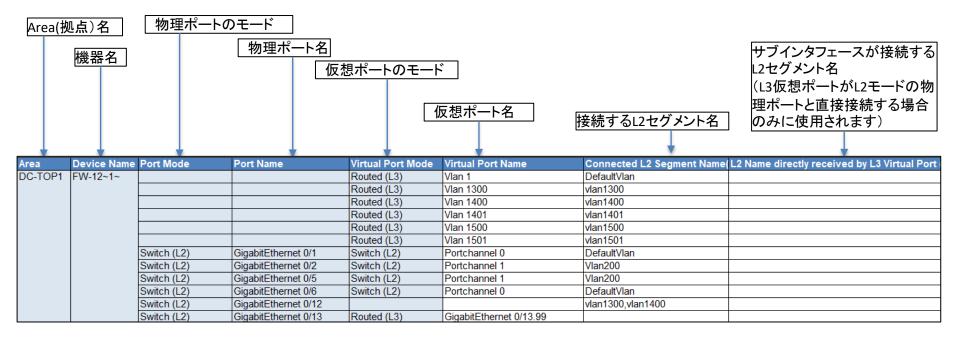
 (XX x/x)
 ・・・・ L2モードのインタフェース

 (XX x/x)
 ・・・・ L3モードのインタフェース

 (XXXX)
 ・・・・ L2セグメント

[参考資料]デバイスファイル [L2 Table]シートの解説

デバイスファイル名[DEVICE]~の[L2 Table]シートの説明。目的のレイヤ2構成方法については、<L2/L3構成>セクションを参照ください。



L1 Table L2 Table L3 Table